


全国学校ギター合奏コンクール 2023 審査講評

B-4 番 団体名:八千代松陰高等学校ギター部

自由曲 曲名: Canary より第2楽章 竜血樹の島/佐藤弘和<指揮:青木千佳>

審査員名	自由曲
有馬	マナー△アナリーゼ△ 技術○ 音色△指揮△。総勢何名ですか? 指揮者の出方、もっとビシッとしてください。騒がしい出だしですね。もうちょっと何とかありませんか? 曲としては面白いんだから出すべきところ、おさえるべきところ、自覚されてください。とても良い選曲されていると思いますが、こなしてない。もっとうんと練習して我がものにするともっと面白いものが生まれてくると思いますよ。全体的に騒音が立ってます。もっと抑えてください。転調するところ、ちょっと変なところあります(いわゆる三度調に転調するところ)。バランス考えてください。
新堀	マナー○ アナリーゼ○ 技術○ 音色×指揮△。低音大不足。ノックザボディの時でもズーンという音必要。60名ではギター6名+弦バス1名+コントラバスギター3名でバランス取れる。指揮は奏者の胸や目に向かって行ってください。指揮の指の先が生きてない。ブラボーの声○
竹内	全体にバスが弱いので拍子感の変化の真の面白さが伝わりにくかったのが惜しまれます。冒頭から4thのパーカッションなどが大きくややバランスにかけました。4小節目などのperc.などが大きく、ややバランスに欠けました。もっと聴こえて欲しかったです。39小節のバスと3rd、41小節のバスなど、和音の色が出しきれていなかった。67小節のサブドミナントの和声的強調など欲しいです。
猿谷	 をもっと確実にしましょう。合唱の指導をしていた時にラテン語のテキストで発音を直すことはすぐには無理なのでアクセント(それぞれの単語の)だけ強く意識させたところ見違えて良くなったことがあります。何かそういった工夫を考えましょう。
堀	冒頭、打楽器奏法がメロディーの楽音よりも大きかったと思います。途中カスターネットが入るところも同じ。全体のバランス大事。メロディーの音色にバリエーションが欲しい。指揮は部門唯一の学生さんでしたが meno mosso でタクトを用いず差をつけたのは効果的だった。
柴田	指揮、なかなか良い。さすが大合奏となると厚みがある。出だしのバランスは一考の余地がある。よく訓練されている。
中島	マナー○ アナリーゼ○ 技術○ 音色○指揮○。人数に合わせた指揮。人数配分が出だしの打楽器奏法では高音部に比べて多すぎるように思いました。ピアノ(p,pp)はもっと落とすともっと立体感のある演奏になると思います。カナリア諸島の人も今はすでに難しいと言っているカナリオスのリズム、とても気持ち良かったです。最後はカナリオスのリズムをもっと出して欲しかったです。迫力あり、大人数の合奏の醍醐味を味わえました。

【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール 2023 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早 1-16-14

Tel.03-3530-5341